

『数学のための英語教本』 補足コメントおよび正誤表

A. 補足コメント

- 第4章, 63 ページで, 「have は that 節をとれない」と書きました. 正統な英語では確かにそうなのですが, 数学の論文では「We have that (式)」の形の文をよく見かけます. これは数学方言(?) かもしれません, 例えば以下のウェブページなど, 数学者の間でもいろいろ議論があるようです.

<https://math.stackexchange.com/questions/447697/mathematical-writing-why-should-we-not-use-the-phrase-we-have-that>

B. 正誤表

(~2刷)

※ページの左肩に*が付いたものは, 誤りではないが, 文章をより良くするための修正.

頁	訂正箇所	訂正前	訂正後
*32	下から4行目	定理2の結論はみたす.	定理2の結論をみたす.
90	下から11行目	the number of the elements	the number of elements
*99	下から4行目	するもの.	するものである.
*106	下から9行目	対角成分から λ を引いたので,	対角成分から λ が引かれているので,
*111	下から11行目	or is ∞	or <u>is</u> ∞
*114	7行目	Aの各点のいくらでも近くに	Aの各点にいくらでも近い
*128	下から9行目	次の性質を示すのは容易である.	次の性質は容易に示せる.
142	下から7行目	以下では,	以下では.
*154	下から1行目	くだけた書き方.	くだけた書き方である.
*161	13行目	補題1から	補題1により
*163	10行目	上からの評価式の	上からの評価式において
*170	9行目	個人的には,	私自身は,
*193	4行目	倒置をすると	倒置によって
*199	20行目	物理学者リゲット氏が,	物理学者レゲット氏が,

(1刷)

頁	訂正箇所	訂正前	訂正後
7	下から11行目	devóted to	devóte to
17	17行目	sqúare	squáre
75	下から8行目	diágonalization	diagonalizátion